

アラル海北部視察と支援国調整会議

2023年5月20～26日、山田大使は USAID 及びアラル海救済国際基金の主催する現地視察及びクズルオルダ市における国際シンポジウムに参加しました。



往時のアラリスク港(博物館の絵画)



現在の光景



バルスキ砂漠



砂漠の拡大によりゴースタウンと化したアケスペ村



現地に踏みとどまるラクダ農家



湖岸付近に湧出するラドン鉱泉(約 60℃)



復活した小アラル海の北岸



遠浅の湖水



塩湖であったことを示す岸辺の貝殻



水温は比較的高め



湖岸に捨てられたゴミを清掃する一行



小アラル海北岸の岩山(種々の化石が発掘される古生物学上の宝庫)



この日一行が発見した化石



古代のサメの歯



樹齢 50 年のサクサール(食害から低木のまま)



UNDP プロジェクト(柵設置、7 年で 2m まで成長)



シルダリヤ川に設置されたアクラクの水門



放魚用の水路



コカルル・ダム(世銀プロジェクト)～2005 年完成、小アラル海「再生」の要



ダムの北側から小アラル海を臨む



小アラル海南端部



完全に干上がった湖底



石田紀郎氏が植えたサクサウール
(周囲に自生帯が現出している)



USAID による地下水のボーリング



「オアシス」プロジェクトの拠点



参加者によるサクサウールの記念植樹



クズルオルダ市における支援国調整会議



会議出席者の集合写真(カザフスタン中央・地方政府、USAID・アラル海救済国際基金等に加え、ウズベキスタン中央・地方政府、米アルマティ総領事・日本大使・独臨代が参加)